広報 平成元年 12 / 10 No.376

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111) 発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

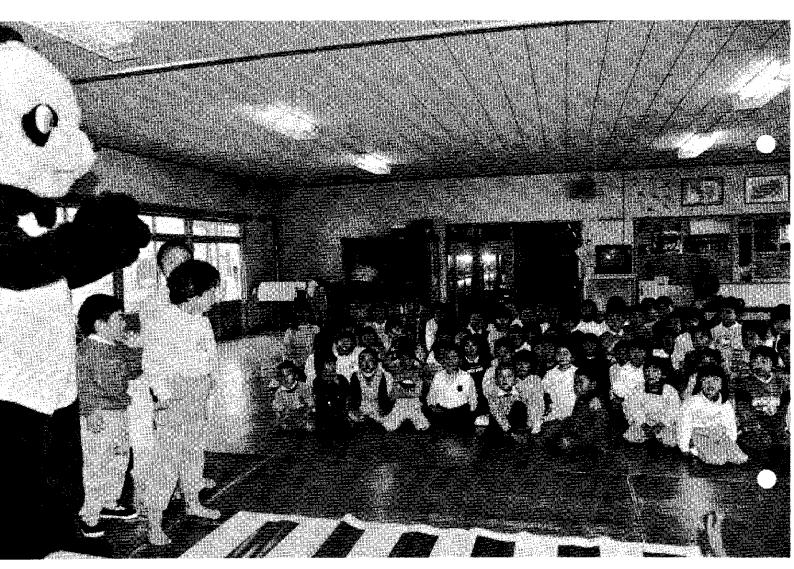
人口の動き12月1日現在−

男 4.527

女 4,576(-17) 計 9,103(-21)

世帯数 2,265(-8)

()性前月日酸



注意して渡ろうね みんなで約束 交通安全

- 11月14日 橘保育園 -

県**警**交通安全教育車「ゆきつばき号」が、やってきました。

この車には腹話術のケンちゃんと、大きなぬいぐる みの「パンダ」さんが乗ってきました。

道路を渡るときは、どんなことに気をつけたらよいか、ケンちゃんやパンダさんと楽しく勉強しました。



休日救急医は12ページです。

されました。

路総延長105 %メートル

福田石材越工業市線土業

井川 建 羽 鳥 建 羽 鳥 建 設 設 設 設

委託しています。町内全路線の除排雪作業を一括同企業体(代表吉楽土建)に、

四キロの新設や区間延長が認定 (滋野一郎 会長)総会が開かれ (滋野一郎 会長)総会が開かれ 野道では、中屋敷北原線、元町道では、中屋敷北原線、元町道では、中屋敷北原線、元中仙田東浦一号線、元の事業経過と決ました。

千手地区

Elfr.	/at*s	-			除		質	_	×		FIE.	1	
路	線	名		走	2		点		¥	佟		ķ	ί.
山野中島	田西町栄		線線	平朝	-	機町	械町	店内	田	中條	# —	郎	宅
' ~	"		1434	1	子田原	-	-	線	ш	野田	干	平	線
	"			県		• • • •	• •	道	柳	沢	啓	•	店
中島町	「山野!	田原:	線	中類	島町	栄	ĦŢ	線	山里	野田	原第	₹町	線
山野田	原栄町	2号:	線	干馬	手ス	۲	7	-	J	R	駐	車	場
	"						幸	宅	相	崎	超	ţ	毛
田中	四郎		線			徳	吉	宅	幹				線
	善		線	1		孝	_	宅			"	-4.14	_
裏町	_		線	関		真	Ÿ.	宅	6	橋 定	_		宅
田中木島	-		線	田千	中;手	藤 農	沢	線力		星敷		· 一造	線字
木 島伊 友			線線	高原	-		-	協	高伊	橋友	芳公	逗民	宅館
伊友			線線	全	121777 2	X/J	1IXH	線	13-1	X	X	,TX	Rä
木島	高原		線		名米	太	郎	宅	高!	原田	」坪	Ш	線
高原	田東		線	佐佐		屋.	商	店	柳	和	, , ,		宅
高原田			線	全		-	1143	線	121	114	,	`	_
		- •	線		度	壓	商	店	高	原田	元	町	線
古屋	敷北		線	小	八	屋	•	脇	星	名	忠	夫	宅
	"			大	和	\exists	動	車	111	西	Ē	ij	校
裏町			線	平		쒜	_	笔		藤喜			宅
坪山	部落		線			弘	蔵	宅		各内 理			
坪山	た_め		線	高	橋	建		材	高	橋	弘	蔵	宅
坪 山			線		」た		池	線	霜	条	公	民	館
(鶴吉」		線				民	館	清	П	竜	_	寺
1	鶴吉 2 坪山 南	_	線炉				治	宅	蔵幹	品	完	三	宅
相常系			線線	,			条 民	線館	総総	合	体	育	練館
上 野			線			公公	民民	館館	幹		144	Ħ	線
- =1	在与	\Box	ሱን	注考	Π .		и,	E E	77				47

仙田地区

114	四月		_								
路	線	名		除	1	<u> </u>	×		間		
	1₽TK	-	j	包	点	(Á	佟		点	
新町業	折田 岩	瀬線	围	道	404	号	登	坂	松		宅
岩瀬部			ı		"	•	中		昌		宅
田戸越	ケ沢トン	オル線	越生	ア沢ト	ンネル	ΗD	H			•	Ē
中仙田	東浦	号 線	南	雲田	平冶	宅	龍E	3 ٢	ライ	ブイ	ν
	"		小	林	義 幸	宒	小	林	徳	平	宅
	" 2	? 号線	登		勝朋	宒	国	道	4	04	믁
中他田	西浦		国	道	404	号	中(tlı 🎞	新国	己敷	線
中 仙	平 薬	師線			"				"		
田戸	部落	内線	田	jΞ	藤沢	線	樋	□f	ŧ -	宅	襄
田戸	藤	沢線	県			道			"		

第2種除雪道路

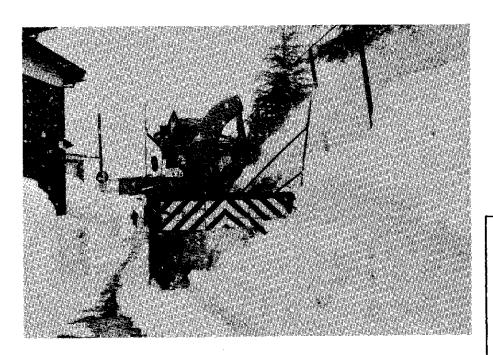
(1車線確保を原則とするが場合に)よっては一時交通不能になる

上野地区

路	線	名	除	雪	区	間
PE1	ተማና		起	点	終	点
上野	向 (1 線	県	道	上野	鶴吉線
上 野	北月	原 線	"		松乃	井酒蔵
│ 元 町 部 幕	\$内1	号 線	全	線		
新町新日	日中学		上野西浦	2 号線	上野西	浦 3 号線
上野東	浦 1	号 線	国道	252 号	下 平 ៖	新田堤線
上野西	浦 1	号 線	上野西浦	2 号線	上野下平	2新田元町線
"	2	号 線	山喜屋	豆腐店	新町新	田中学校線
"	3	号 線	農	協		"
"	4	号 線	根津石	三宝	上村	蜂 松 宅
"	5	号 線	上野西浦	1号線	勝見	屋商店
[元 町 新	町新		押木	登宅	県	道
新町新田:	寺ケ崎	1号線	公 民	館前	新町新	田環状 線
新町新	田岩	瀬線	県	道	川西	ダ ム
下平新	田三	頟 線	下平新田	神社下	三領	公民館
三領木	落 1	号 線	三領部	客内線	高橋	勇 吉 宅

橘 地区

	路	線	名		¥	Ř	<u>a</u>	<u></u>	٥	ζ	II.	1	
	FET	粉天			起		点		:	終		ļ.	į
木 仁塩木仁野 野野原原野	" 田	下	田浦浦 状 原 線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線	渡山橘村大須下下丸	の型の動物を	展 幕 原一	三務宅 雄孝助 徳	線 路店裏校宅宅宅方堤宅	塩塩下川片村県下県取	辛 崎村越 原 安	公神	民 一郎 民 社	館辛堤宅宅宅道館道下
仁三	田東領木		田 線 2 号線 1 号線	高野全田		博大 幸	行原 平	宅線線宅	池野木	竹 口 客部	環	大 状 2号	宅線線





除雪道

◆ 十二月一日から三月三十一 日まで、除雪道路は全面駐車 日まで、除雪道路は全面駐車 日まで、道路上に雪を捨て ることは禁じられています。 万一、屋根の雪を落としたら すぐに片付けてください。 今 消雪パイプは、午後二時か ら三時までと、四時から五時

第1種除雪道路

(2車線または1車線) の幅員確保を目標

千手地区

	6 ⇔			除		4	i	X		間		
路	線	名	乾	1		点		1	冬		点	
山野	田下	平線	県				道	永井	‡ = :	ノク	1)	- F
山野田	原第	色町 線		橋	亩	義	宅	丸	山	;	透	宅
	"		平	野	稔	:	宅	高	橋	寅	義	宅
中島	町栄	町 線	山野	子田	下	亚	線	宮	新	ŕ ·	_	宅
山野	田西	浦線	くり) (P	商	店	脇	北	村	直	次	宅
山野田	1 大 名	计堤 線	北	村 i	直	次	笔	幹				線
四月	事	線	新保	クリ	-:	ニン	1	山坦	爭田	大	谷堤	線
山野	田下	平 線	中息	一	栄	町	線	県				道
東善	寺 籠	堤 線	県				道	幹				線
山野	田木	島線	山里		下	平	線	小		島		屋
栄町上	新井	中立線	中島	易町	栄	町	線	千	手	*		社
裏町	学	校線	市。	J3[]	良	夫	宅		手 小	_		前
水口沢	冲立中	屋敷線	坂	顡	Ī		宅	高	嘉	商	店	萷
田 中	醾	沢線	孫	六	音	ŝ	店	水		源		也
寺尾子	手事物		千月	F 郵	便	局	脇	長	褔	寺	λ	
中屋 痩				~	商	店	脇	幹				線
木 島	坪	山 線	木	馬	<u>.</u>		笔			#		
木島	伊	友 線			芳	造	宅	羽	鳥	徳	_	宅
1 1-1 ""		根岸線			星	髙	店	観		音		様
北原	伊	友 線			事	務	所]][西		哥	校
伊 友	西	浦線		-	仁	作	宅	ι	田伊	友/	八根	
高原	田元	町線			屋	蕳	店	幹		•		線
東山新		斤田線	+	日			境	#	业_	製	材	所
冲 立	学	校線			常	平	宅		野日			線
坪 山	ため	池線	坪	山	Ξ	-	方	高	橋		主 .	材
高原	田元	町線	幹				綟	国	道	2	52	号

上野地区

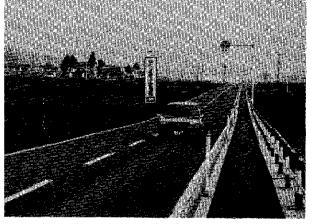
D/r	仲	名	除	4	ì	区		闁		
路	線	4	起	点		á	<u>佟</u>		点	
高原田三 領	伊友小部 落	根岸線 内線	国道三領部署	252 客内全	号線	焼	土	Ι		場
元町業	所町 親 平新田	五田線 元町線	国道県	252	号道	押長	木	登 安	<u>\$</u>	宅寺
元 町 □			国 道 星 名	252 仁 作	号宅	な 県	か	ま	の	家道
"	新田 明 中 新田 明	7 沢線	下平新田 下平新田 新町新田	環状線	三方	下	水	処	理	場

橘 地区

D#	eria Oria	名		簽	È	雪	Í	X		閰	
路	線	₽	i	起		点		, j	終		느
本仁仁仁木野野仁野原原落大四里 落口田田 下田田 下田	原大環野原根	状1 1 田原状口 深内線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線		一部島 田 岡郵安安	盛駐原のパイ		線宅道所堤前 油局社所	大橋ハ取諏仁	和小り安訪田	伸撃マ神神にン神	校ヤ社社線

仙田地区

	_					
047	伯	77	除	雪	×	闦
路	線	名	起	点	終	点
田赤赤室室小高中中谷谷島東脇倉田	藤西東神浦高環新	沢浦浦社 1 倉状 敷線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線線	国高田国全県 小	404 号宅宅号線道 " "一郎"	室公青相室高小関島山東倉脇川	水民 国前環高源 号状倉 医韧带 医牙状角



幹線道路にある交通安全看板 昭63.11 霜条

末年始の交通事故防

おちょこ一杯で 理性が失われる

見ながら考えてみましょう。

を握ってしまうのでしょうか。アルコールが体に与える影響を

ます。自分の車で出かけて、帰りは、つい飲酒運転をしてしま いがちです。飲酒運転の危険は知っているのに、なぜハンドル

これから年末・年始にかけて、外で酒を飲む機会が多くなり

飲酒

運転の恐

性が失われると、人はだんだん をつかさどる部分なのです。理 といわれてもしかたがないわけ 獣に近くなります。だからトラ もまっさきにまひするのが理性 せる働きがあります。その中で 「トラになった」といいます。 酒を飲んで、酔った人をよく アルコールには、脳をまひさ

があるかないかではなく、脳が えば、おちょこ一杯の酒で、だ いなのです。 アルコールに強いか弱いかの違 れにでも起こっていることです。 このような状態は、極端にい 酒に強い弱いというのは理性

運転に必要な判断力や物を見て は、運転する能力に限っていえ 考える力はすでに失っています。 ば、まだ残っています。しかし、 酒をほんの少し飲んだ程度で

> をしてしまうのです。 うないのです。だから飲酒運転 ても、それを抑制する理性がも 飲酒運転はいけないと知ってい

ビール一本でも 運転に悪影響

こんな状態でされるとしたら、 失うばかりか、運転に必要な能 合くらい、ビール一本程度で、 力にも影響が出てきます。 なります。こうなると、理性を 大変危険です。 にだんだん反応しなくなります。 し始めて、目に見えているもの つのミスも許されない運転が、 例えば、外の刺激にぼんやり ほろ酔い〟といわれる状態に 健康な大人は、普通、 酒を

を防ぐという、アルコールの良

レステロールを増やし動脈硬化 生きのようです。血管壁からコ

い人や多量に飲む人と比べて長

い作用が働くことなどが原因と

かけないことです。 して何より、酒の席には車で出 そのとおりにすることです。そ どうやって帰るかを決めておき 性があるときに、酒を飲んだら まだアルコールの入らない理

くための鉄則です。

ています。

うに、アルコールは、たしなむ。 五合を毎日十年間飲み続けるか、 ますから、注意が必要です。 起こるとされています。ただし 総量がその程度になったころに にビール五本、あるいは日本酒 くらいの量で危険といわれてい 女性は、その半分から三分の一 もっとも、昔からいわれるよ アルコール性肝硬変は、一日

ぼす影響は大きいのです。 れだけにアルコールが肝臓に及 大半が肝臓で分解されます。 アルコールは、体内に入ると

そして最後は肝硬変に至ります。 それが進むとアルコール性肝炎 肪がたまってくる脂肪肝です。 こる肝臓障害は、細胞の中に脂 もちろん肝硬変は、アルコー アルコールによって最初に起

性肝硬変とされ こるアルコール 原因の肝硬変の るものばかりで ルによって起こ の一は、アルコ ほうがずっと多 肝炎ウィルスが むしろ日本人は はありません。 ールによって起 いのです。それ でも全体の三分



たしなむ人は、まったく飲まな の長」としての効用があります。 程度にとどめておく限り「百薬 竣工式 すっかり定着した 祝宴なしの合同 また統計でも、アルコールを - 11・18 総合センター

守ること。これが、アルコール を「百薬の長」の座に据えてお こと。そして週二日の休肝日を ともに楽しく、ゆっくりと飲む ル)、ウイスキーならダブルー ありますが、大まかな目安とし 杯くらいまで。これをさかなと 本酒なら二合(○・三六リット ては一日にビールなら二本、 いわれています。 ″ たしなむ″ 量は、個人差が

館で、文化祭と白倉自慢会がい っしょに開かれました。 十一月五日、白倉小学校体育 文化祭では練習を重ねた合唱

ていました。 ぼ」には、大きな拍手が送られ た、夕焼けこやけの…「赤とん が展示されました。 自慢会には、ジャンボのカボ 音楽会では児童全員で合唱し

> 仕度、おとうさんがたは出稼ぎ どの農産物や、ギンナン、丹精 示、即売されていました。 こめた菊、盆栽、ゴマなどが展 宝石#錦鯉も即売されました。 り組んでいるしめ飾り、〃泳ぐ 恒例のこの行事が終わると冬 また、地域の特産品として取

や合奏の発表と、絵や習字など

に出発します。 チャ、サツマイモ、ニンジンな



「赤とんぼ」を合唱する、全校児童 11 人

秋も深まり 文化祭と自慢会



力作を展示

自慢会での一コマ

開かれました。 合センターで第十五回町美術展 と第一回公民館作品展が合同で 十一月十一・十二の両日、総

いままでは美術協会の会員が

観覧者も多く、盛況でした。 七十点ほどの力作が展示され、 この展覧会には、およそ二百



展示された焼き物は 百四十点あまり

> 感想を聞いてみました。 でのようすや、作品ができるま での経過なども紹介されていま 参加者の作品が加わりました。 部門の展示となっていました。 主体となり、絵画、 で開かれた、版画、焼き物教室の この教室に参加された方々の 会場には、版画、焼き物教室 ことしは、春から公民館事業

と思います。教室に参加するこ みつけて、これからも続けたい できました。 とは勇気がいりました。でも年 とが大変うれしいです。時間を 齢に関係ない、仲間がたくさん ひとつの形が出来て、残るこ

ませんか。 あなたの手で、「物」を作ってみ 教室を計画しています。ぜひ、 公民館では、来年度も各種の

香りゆかしく

岩瀬の小川 岩瀬の小川信義君(富行さん

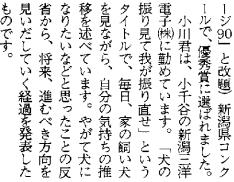
の長男・19歳)が、NHK青年

の主張(今回から「青春メッセ

ものです。 見いだしていく経過を発表した タイトルで、毎日、家の飼い犬 ールで、優秀賞に選ばれました。 小川君は、小千谷の新潟三洋

ことになります。同君のご活躍 に期待しています。 越大会を経て全国大会へと進む

職場のロビーで入賞の 喜びを語る 小川君



新潟県代表として、関東甲信

辺エリカさん (伊勢原市) と松 フランスのワインをお持ちくだ 至を訪れました。 お土産に本場 本三季さん(杉並区)が、町長 十一月二十日高倉国際村の渡

こうして、序

広がる交流に期待 境整備も進んで

々に国際村の環

高倉国際村

豊富な水から

になり、都会の を通じてお越し 利用者から四季 います。大勢の

情報や知識の交 流を活発にして

復帰、確保することができまし が減ったことから、井戸掃除を しています。しかし、最近水量 しました。幸い、十分な水量を 倉小学校井戸を水源として活用 同村の飲料水は、かっての高

ださったものです。 でいました。今回、その利用者 を代表してお二人が表敬訪問く して訪れることができると喜ん これで、避暑など夏場に安心

高倉国際村 - 昭63.4.15 -

ました。何よりも、大勢で談笑しながら賞味 することに、意義があるようです。 れました。ボランティアの人たちの献立も、 気持ちのよいほどきれいに平らげていただき 今回、近くのご婦人お二人の踊りが披露さ

ひとり暮らしの

お年寄りご招待

食

子でした。

となったこの催しを、楽しみにしているご様

三十人ほどの参加者全員が、春と秋に恒例

かれました。

議会主催のひとり暮らし老人招待昼食会が開

十一月八日総合センターで、町社会福祉協

さいました。

ません。 す。それがある意味での「リゾ もっともっと積極的に交流の機 りではなく、町民のみなさんが た公式行事や高倉の人たちばか を図っています。ただ、こうし さんの幅広い人脈や知識を通じ 依頼するなど、文化交流の推進 ート事業」といえるのかも知れ 会を広げていってほしいもので いただきたいと思っています。 て、成人式など諸行事の講師を すでに町では、国際村のみな

が利用しています。 ました。現在、七人のお年寄り 町に次いで六番目の実施となり それに三島町、出雲崎町、小国 を向上させようというものです。 済的負担を軽くして、在宅福祉 あたっている人たちの苦労や経 もらうためと、家庭内で介護に 寝たきりや痴ほうのお年寄りか 老人家庭援助事業」の一つとし ら清潔で心地よい毎日を送って て、寝たきりのお年寄りに布オ ムツの貸し出しを始めました。 県内では、新潟市や佐渡郡、 十一月十日から、 「寝たきり

布オムツで気分さわやか

寝たきり老人援助事業

下で6番目の取り組み



第1回郡市福祉大会 7.26 千手小体育館

寄りで、貸出枚数は一人一日二 訪問し、回収しています。 のところ平均十枚程度で、 十枚までとなっています。現在 対象は、六十五歳以上のお年

かも、専門業者が洗濯しますの れ防止用布でできています。し 幅四○秀、長さ一二○寿の床ず していて気持ちがいい」と好評 からは「あたたかく、さらりと で、清潔そのものです。利用者 この貸し出しオムツは木綿製で 使い捨ての紙オムツが多い中

す。うち十三円は県からの補助 を充てますので、実質十三円で 利用料金は、一枚二十六円で

お問い合わせは、役場福祉係

NO.9

駅しい家譲ん

成

験

を

もいます。 りました。また、子供に手伝っ 時間、勉強してほしいという親 てもらうと、後仕末が大変だと 理を手伝うという仕事がなくな か、手伝う暇があったら、その 電化が進んだために、おふろを たく、たきぎを拾い集める、調 便利な家庭生活用品が普及し

連帯感をもつためにも、 信をつけるためにも、家族のた 安であると思います。 を覚えるためにも、手伝いは必 人のためになることをする喜び めに自分も役立っているという また、

ことを子供にやらせる手伝いも 親が自分でやることが面倒な

苦労して遂行し

初めてのことを の子供にとって

いうことです。 ません。家の手伝いをしないと をしない、という意味ではあり ことは家計を助けるための労働 番働かないといわれます。この 世界の中で、日本の子供は一

しかし、達成感を体験して自

力や緊張があっ われること、そ 少し難しいと思 年齢から考えて す。その子供の たりする場合で

お手伝いを通して

です。無意味なことではありま を取りに行くというようなこと という喜びです。これが得られ せんが、もう少し工夫と配慮を あります。ごみを捨てる、新聞 してほしいと思います。 達成感というのは「できた」

あったり、やっ る前に多少の不 ません。着手す 安やためらいが たときではあり ことをやり終え ている途中で努



た場合です。

どいろいろ考えられます。励ま にその内容を示すのは困難です に褒め、子供の心に成長感を自 してやらせ、うまくできたとき が、近所の店に買い物にいくな 年齢によって違うので具体的

ことをいうのです。 は母親を見てにっこりと笑いま っと届いてはがきが入り、子供 親がじっと見守っています。や しようとしています。そばで母 を伸ばせるだけ伸ばして投かん らいの子供がつま先で立ち、手 した。達成体験とはこのような の前で、はがきを持った四つく 覚させることが大切です。 ある町角の風景です。ポスト

史 H る <33>

仙 田は大村だった 岩 瀬 金 子

作

経済更正指定村

年計画で推進された。 県の「経済更正指定村」を受け 多角的な農業経営で、農家の収 たのは昭和十一年の春である。 安定を合いことばに、仙田村が 入を増加するための事業が五カ 農村精神の作興と農家の生活

養が盛んになる。 ヨウ、タヌキ、鶏、ウサギの飼 され、牛、馬、豚、ヤギ、メン ユリ、ショウガ、綿花、芋類、 米、繭、ゴボウ、ニンジン、 わら細工が飛躍的に増産

人口七千人にせまる

千人にせまる勢いであった。 世帯数は一千を越え、人口は七 治が、村会に報告したこの年の 戦時体制下で仙田村の全盛時代 村観念を呼びかけたかいもあっ を現出する。ときの村長増田克 て、指定が解けた十六年には、 挙村一致の勤倹、貯蓄と、愛 「産めよ殖やせよ」の国策や

> うわまわることはなかった。 集や徴用もあい次いで十六年を 村に動いて移民に力を入れ、 召

若い男女があふれる

が一段落した二十五年がピーク 生徒の増加で小・中学校がせま 付や検診で繁忙の毎日が続く。 くり、衛生係は、母子手帳の交 たアネサが役場の窓口に列をつ 落も祝言ばやりで空前のベビー 留して夫や子を迎え、どこの集 になる。疎開者もまだ大半が残 か作りの教室に衣がえする。 くなり、教員住宅や物置がにわ 三男対策が問題になる。児童、 若い男女があふれて農家の二、 ブームが到来する。妊娠届に来 二十年代の後半は、ムラ中に 戦後の人口は、復員や引揚げ 大貝を上小国村へ分村(二十

荒瀬や天王が編入されたときは、 いちまつの希望がわいた。 合併直前の仙田村に、松代町の になるようで嫌な予感がした。 七年)したときは、村がジリ貧

挙家離村はじまる

三十一年九月一日に川西町が

しかし、当時の仙田村は満州分 七年以後も増加したかに見える。 疎開者の転入で、村の人口は十

> 村よりもはるかに多かった。こ 橘村と共に、 仙田村も長い歴史 で三戸が仙田をあとにする。 手が上がり、挙家離村のはしり 赤谷、室島、田戸に転出の火の の年、虫が知らせたのか、大倉 は、世帯数と人口がほかの三町 の幕を閑じる。合併時の仙田村 誕生すると、千手町や上野村、

三戸が転出し、三十四年には越 を窮地に追い込む結果になる。 あったが、こうした考えが仙田 ラが楽になる」と評価する人も 耕地がそれだけとうたされてム を、「離村者があれば、不便な が村を離れる。この異常な現象 室島六、赤谷四を先頭に二〇戸 に広がって九戸、三十七年には 三十五年は室島、赤谷が中心で ケ沢に飛び火して八戸が転出。 六戸、三十六年は桐山と中仙田 三十二年に四戸、三十三年に

あわれコスモス

四年には一二戸が離村する。 年に一二戸、四十二年には八戸 波及して一五戸が離村。四十一 する。四十三年に一六戸、四十 が離村し、桐山は松代町に分町 に一三戸、四十年には全集落に 三十八年に一九戸、三十九年

倉三、小脇三、田戸三、室島二 岩瀬五、霧谷五、中仙田三、大 四十五年は高倉一六、赤谷六、

となり、離村五四戸(三戸不詳 越ケ沢二、大白倉二、小白倉 を数えて最悪の事態となる。 かっての越ケ沢集落地点

の空に舞い上がった。 らである。出て行く人は、伝来 あるのに、常会等の席で討究さ 落ちた。庭のコスモスが柱や壁 何百年もの間、風雪に耐えてき 内や業者に任された例が多い。 日、希望にもえて「ハチャ、サ の資産を人知れず処分し、ある ムラの衆のだれにもなかったか れた例はほとんどない。新天地 土で埋まり、どす黒い煙が近隣 たカヤ家のグシが無情にくずれ イナラ」という仕儀になった。 への雄飛を断念させる権限は、 離村は集落がさびれる前兆で 残る住居の仕末は、在住の身

夢よもう一度

で各二、小脇、霧谷、小白倉が 高倉四、越ケ沢三、藤沢と田戸 には大白倉九、赤谷五、岩瀬五 離村はなおも続く。四十六年

(中央)下あたり

は四十七年に二四戸、四十八年 名新田と共に閉村する。このあ 各一戸で三六戸を数える。 数え、この年、霧谷が平見、星 に一三戸、四十九年に一四戸を 沢が消えて現在に至る。 戸、五十二年に七戸、五十三年 と五十年に九戸、五十一年に四 下降線をたどり、六十年に越ケ に五戸が離村。五十四年以後は

を呼びもどしたいものである。 る。ぜひ実現して、昔日の繁栄 おこし」の話がもち上がってい 「山村留学で村

仙田地区の昭和16年当時と 現在の世帯数・人口の比較

	7) (T +	s 155.411.3			J 721			
On the de	世	5 数)	人口				
町内名	62 16	平元10	EB 16	平元10	比較%			
中仙田	158	111	925	413	44, 6			
室 島	126	58	815	221	27, 1			
桐山	19		164					
小魔	28	16	204	54	26, 5			
高倉	80	20	552	6B	12.3			
霧谷	20	0	120	C	O			
藤沢	53	1	375	3	0,8			
田戸	62	22	441	64	14,5			
越ケ沢	46	0	291	0	0			
赤谷	103	54	670	226	33,7			
岩瀬	87	52	611	205	33, 6			
大 倉	37	6	268	14	5,2			
大白倉	62	28	407	86	21, 1			
小白倉	90	47	585	162	22, 7			
大貝	36		264					
計	1,007	415	6,692	1,516	22.7			

(·) of the provious (V/) server one

い出の ふるさと

佐藤 良 治さん

霧谷出身



ありがとうございました。 ることができ、喜んでいます。 きました。ふるさとの情報を知

ました。その折、広報送付を依 頼したところ、早速二日後に頂 郎さん(山野田)にお会いし 八月に長岡・宮内で、田村才

感心しました。

押木英一 (発電所通り西) 三万円

広報発行に

和久井久四(市川市 佐藤良治(三条市)

> 五千円 二万円

社会福祉に

西野美枝 (練馬区)

五千円

展をお祈り中し上げます。

最後に、川西町のますますの発

が改造され、見違えるようでし きました。道中、各集落の家々 とは驚くばかりでした。町長さ た。また、道路の良くなったこ んはじめ住民のご協力の結果と

した。残念です。 の登坂君は、戦死してしまいま そのうち、岩瀬の小川君と赤谷 霧谷の各一人ずつの四人でした。 仙田村から岩瀬、赤谷、室島、 昭和十七年六月召集は、当時の 戦後、四十数年が過ぎました。

るさとが懐かしく感じられます。 帰省しませんが、年とともにふ 最近は、三年に一度くらいしか てから二十五年が過ぎました。 金物卸商としてここに落ち着い 私も、食糧難時代を経ながら

それが今は、峰伝いに道路が走 その小屋の近くに私の田も四、 不可欠な地点として利用されて むコースと変わりました。しか かと思っています。 も、川西町と十日町市の生活に り、春は山菜、秋は紅葉を楽し 五枚あったのを記憶しています。 は、ごみ捨て場となりました。 少なからず役立ったのではない いることに、私どもの離村が、 霧谷の主要な耕作地だった所

建てたのだそうです。天気の良 あります。昔、高倉の人たちが むことができます。 い日は、ここから佐度が鳥を望 頂上へ登ると八海山の石碑が

会があり、相国寺をお参りして

お盆過ぎには、小学校の同級

点在し、五世帯が耕していまし 字どおり朝から晩まで日の当た このごろです。 を思い、ふるさとをしのぶ今日 た人でないと分からない懐かし がらその先の黒姫山を望む眺望 格別でした。一方、桐山を見な る最高の耕作地でした。一日の の共有地でした。その間に田が い風景です。ときどき、仙田村 も最高でした。あの地で暮らし がら十日町の灯火を眺めるのは **農作業を終わり、星空を仰ぎな** た。字名を「日向」といい、文 かって東側の斜面は、沖立と

崎 日 惜

鑓田 (野口出身)

ているところです。

はどこに旅しようか……相談し

ろ「こんなふうに書いてくれた 念のお品も有り難くいただきま ていただき恐縮しています。記 した。厚くお礼申し上げます。 た。今後のご健筆を期待してい しみに拝見させていただきまし って寂しい気がします。毎号楽 の」と大変喜んでいました。次 友人にも一部上げましたとこ 「はいけい」欄に、また載せ

> たとのこと、がっかりしました。 ています。 もご自愛なさってくださいませ、 ています。皆みな様、くれぐれ しの冬は、きびしいと報ぜられ 入れのころでしょうか? こと かったことも、まぶたに浮かび た日の大林や赤坂の紅葉の美し ころが、思い出されます。晴れ 故郷の大畑の杉林で見た子供の と聞いたら、あの辺は眠ってい もう雪とか。新幹線で来たので 式部の小さい実が鮮やかです。 「湯沢や八海山はどうだった?」 泊しました。鳥海山や月山は きょうは、冷い雨で鉢植の紫 きのう、山形県の友人が来て 故郷の町の発展を心から祈っ そろそろ野沢菜や大根の取り

小学校脇から小白倉を望む

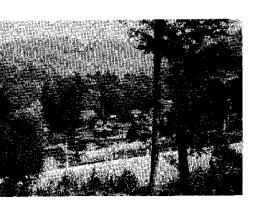
ます。ますますのご活躍を心か 強く訓練されたたまものと存じ めでとうございます。共に忍耐 川中吹奏楽部の皆さん、銀賞お

技能オリンピックの星名さん。

「広報かわにし一十月号拝見

ら念じております。

それから | 桁崎日記 | が終わ



よかった. 年金がもらえる

口を訪れました。 るAさんが、心配顔で役場の窓 ょうか?」 先日、六十二歳にな 「私は年金をもらえるんでし

年金をあきらめていたというこ を未納のままにしていたため、 ろが、収入が不安定で、保険料 目営で商売を始めました。 とこ しかし、最近、同じような年 Aさんは、四十五歳ごろから

すから、二十二年間保険料を納 ができるわけです。 場を訪れたのでした。 めていれば、年金を受けること Aさんは、昭和二年生まれで

ることを説明すると、「よかっ に不足期間分を納付できる)し 意加入(六十歳―六十五歳の間 そこで、二年間の不足分を、任 年間の納付記録がありました。 て不足分を補えば年金がもらえ 除の期間が四年で合わせて二十 険料納入期間が十六年、申請免 Aさんの過去の記録では、保

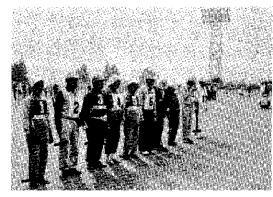
もちゃを買ってやった」とか、

代の人たちから「年金で孫にお

受けることができないかと、役 いました。何とか自分も年金を

詰を聞き、 うらやましく思って

「年金で旅行してきた」という



2年 中村蔵幸君



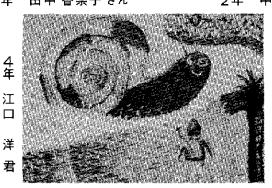
桐生和久 君

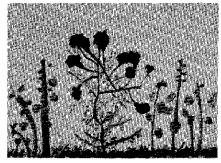


(1月号は川西中学校です)



6年





中村 光宏 君 3年



片桐 八千代 さん



町民ゲートボール大会

=10・23 庚塚 =

(白倉小学校)

進めたいと考えています。希望 ず、ご迷惑をおかけしました。 のないよう早目に事務手続きを 万がありましたが、電算への入 出してから全納を申し込まれた 2時間の不足から受け付けでき 次回から、こうしたトラブル



役場二階事務室

左が会計、税務です右が戸籍、年金、国保

引きになります。

平成二年度以降、新たに全納

を全納すると、一定の率で割り 民年金は、最初の納期に一年分

町・県民税、固定資産税、国

お申し出ください。

平成元年度は、納入通知書を

口座振替をしている金融機関へ 依頼書の書き換えが必要です。 制度を希望する方は、口座振替

町税などの全納割り引 早目に申し込みを

はありません。 は、変更がない限り届出る必要 されるようお願いします。 それぞれの金融機関で手続きを すでに、全納をされている方

湯治は最高 体心

のの

休 洗

養濯

います。 の助成事業が好評をいただいて 県内では川西町だけという湯治 昭和六十三年度から始めた、

治が三泊以上の人に一泊当たり 十五歳以上の町民で、一回の湯 この助成事業の対象者は、六

> 千円を助成しています。 いままでに四百三十人、延べ

> > 方々がこの湯治場に来ていまし

た。この日は、町から十四人の

沢町) の湯治場に行ってみまし

うに、夏から指を折って楽しみ

囲いを全部済ませてやって来ま した。遠足に行く子供と同じよ

越冬用野菜の取り入れや、冬

二千八百泊ほどの利用がありま 用が増えています。 した。特に、最近は団体での利 十一月二十二日、上野鉱泉(塩

上野鉱泉の湯治場で 11.22

トボールをしています。

大気の良い日には、散歩やゲー

座ることができるようになりま ります。来る前はヒザが痛く困 いし静かで、ゆっくり休めます。 に待っていました。 っていましたが、お湯が効いて、 ここに来ると、仕事も見えな 知らない人とも友達になり、 一日に三、四回ほどお湯に入

されていました。心と体の休養 でと願っています。 によって、健康が維持され元気 利用についてのお尋ねは、国 みなさんがとても喜んで利用

がたいことです。 川西町だけと いうこの事業に、ほかの町村の 一泊千円の助成は、大変あり

人はビックリしています。

保係まで。

の窓から

保中三小 たかさご―ご円満に 輪海 小根岸 十日町市から 十日町市から 瀬

登 田 キム・オッジャ 山海小 坂 崎 発海 多恵子 俊 信 好 中島町 赤 谷から 韓国から 寺ケ崎 小手谷市から 小根岸

押木 増雄 74 (本人)水落ハツノ 67 (邦 雄) 昇天 ― ごめい福を祈る 元 仁

田 戸町田

十日町市から

うぶ声 高橋 トク おすこやかに 줴 一)高原田 木

丸山健志郎 智 晃 長男 高原田

山家 大製 三枝子二男 勝 木 落

蔵品 ちづる 幸 保 代 夫 二 女 霜 条

秀

男 原 \blacksquare

合わせたる文殊菩薩の掌に落葉 風動く鶏頭重く吹かれおり 霜条 星名 星光

三代の古り石臼の茎の石 移ろいの早き小春の莚曳く 共に老い野菊の道を語りつつ 上野 内山 寛平

○どんぐりの燃え残りたる焚火跡

太田白南風選

赤とんぼとぶ空の上の飛行雲

落葉掃く老いたる母の背のまろし

綿虫の近くに舞いて波郷の忌 大熊手売れし手締のひびきおり 所沢市 池上マサ子 三領 水品 律

○山茶花の花びら白き雪白き

山茶花の花多きまま囲いあり

仁田田

小幡しん女

遅番の星空仰ぎそぞろ寒 仕分けする歳暮の山や配送所 遠くより底響きして雪おろし 虹の輪に入り夕映えの紅葉山 高倉 斎木 和人

こんにゃくの簾干あり山の宿

練馬区 須藤

萱刈りて真向いにあり八海山

雨音のあられと変る夜の寒さ 池の底澄みたる水に菜を洗う

小白倉 江口みゆき

須叟の間の八十年や菊枯るる

ふところ手われも一人や後の月

中仙田 高野仙蒼子

初雪の来ぬうち囲い急がねば 仏前に ぬか焼きの煙ただよい小春暮れ おそ播きの青首大根細長し 賞を貰いし菊二輪 八王子市 田中 ひさ 板橋区 田中 優美

小川

注連張りという餅が着き師走かな

湯の宿の太文字傘や雪時雨

ふるさとに来てしみじみと天の川

冴え返る朝自転車のペダル踏む П 一路ゆくしづかに肩に散る紅葉 八王子市 府中市 野口 松浦 サク 東風

温泉地そぞろ歩きの小春かな 木落 丸山鉄四郎 村越

る「かわにし俳壇」は、

、熱心な

本紙創刊以来ずっと続いてい

投稿者のおかげで、ますます充

実してまいりました。

肌をさす風の寒さも雪閒近か 山茶花の花散らさじと囲い組む で湯の温め酒 一 高橋 原似

ださった次の方がたが、受賞者

一年間一回も休まずご投稿く

としも贈ることになりました。

去年新設した「奨励賞」を、こ

桐を残すのみ 野沢 寅生

夕映えて白菊まろく盛り上がり

菊薫る玄関広き新庁舎 伊勢原市 大倉 中条 石平 金 子 挂吉

合羽着て霙となりし大根取り

ぎっしりと狭き玄関鉢囲う 赤谷 登坂 醉月 幸

俳友と集うい

山畑の囲

島 ◎題 新 年 俳句 12月25日必着 募集

飾 一咲 冬温室で咲かせた花 新年の飾りである お飾り、注連飾り、輪

の梅等

◎はがき一枚に五句以内 ◎町内名、氏名を明記 (雅号 の人 は本名も) 新年雑詠

◎役場内文書広報係か、 中央町太田白南風あて

◎入賞者には、記念品贈呈

中屋敷の数藤さんら

に俳壇奨励賞

医

___ 大 坪 医 院(四B町) 1日 2日 3日 7日 千手診療所(中央町)

☎ 57- 3018 **☎** 52 - 3269 **☎** 52 - 2957 ☎55- 2003 ☎52- 3276 ☎52 - 2581 ☎52 - 2711

☎ 68 — 2034

12月 17日 29∐ 30日 31日

江口みゆき 村越 中条 高野仙蒼子 石平 ひさ (高倉) (八王子市) (小白倉) 野口) (大<u>倉</u>) (中屋敷) (中仙田) (伊勢原市)

お待ちしています。 予定です。みなさんのご投稿を この賞は、今後も続けていく

星光 (霜条)

律 (三領)

||順不同、敬称略||

0